



送別会のひとこま



吉田光延 画

発行  
 社会福祉法人いわき福音協会  
 はまなす 荘  
 いわき市平中平窪字二堂田2  
 〒970-8002 ☎(0246) 8711  
 編集責任  
 はまなす荘新聞編集委員会

「介護離職に対し国は全力で対策に努めたい。」

私は福祉の現場にいる立場から、介護人材が短期間で離職し、他業種に行って仕舞う事だと思いました。自分の勘違いに気づきました。そうではなく、介護をする為に職場を退職せざるを得ない人達を防ぐ対策だった。自分勝手な解釈を恥じる次第です。

さて、障害分野で三障害一元化と言っても当はまなす荘は主に知的障害系であります。嬉しい事に福祉分野としては離職率が非常に低い方だと思えますし、法人全体としても低いと思えます。育児休暇のほぼ100%の取得率等労務管理が徹底されている事もあると思えます。法人としていかに働きやすい職場にするかを取り組んでいる効果がでてきた一面と思えます。

問題は離職以前の福祉関係の仕事に就いてくれるかであ



り、そもそも興味を持ってくられるのが最重要課題であります。福祉大からの希望者が来なくなると久しい昨今です。今年度の新卒者は例年より多く採用できた事は明るい希望であり、昨年の短大実習生が最終日に履歴書を持参した方がいて本当に嬉しい限りでした。ある学校関係者と雑談していたおりに「初任給・正採用の求人票から選んで就職しても、短期間で多くの卒業生が離職してしまう。福音協会は離職率が低く長く働きますよね。」と話されました。私としてはこんなにお褒めの言葉を頂き恐縮しました。

当法人の「売り」は離職率の低さと長期間働き続ける職場であり、くるみマークに代表される女性が活躍できる職場である事を発信して行きたいと思えます。



### 南限の花

海にいたるラッコは昆布やワカメに身体を巻き付けて寝るそうです。潮の流れに流されないようにするためです。しかし、水族館には昆布もワカメもありません。そのため、水族館のラッコはお互いに手を繋ぎ合っている習性からくる行動ですが、自分を守るだけではなく仲間のことでも守ることが出来る何とも優しい行動のように思えます。

自分のことだけではなく、相手のことも考える。私たちは小さい頃から当たり前のようにこう教えられてきました。一方で、自分を大切にしないことも良いことではないと言われます。持ちつ持たれつのお互い様の関係が丁度良いのかもしれない。ここ、はまなす荘でも職員がお互いに助け合い仕事をしています。とても優しさあふれる職場です。

# 平成二十八年度事業計画

利用者一人ひとりの生活の質を落とさず、より良い生活が実現できるように個別支援計画にそっての支援をしていきます。

利用者の高齢化に対応し健康管理・栄養管理の重要度が増えています。給食・医務・支援と連携し利用者ひとり一人にあった支援を心掛けていきます。

また、日中活動の活性化を図り各作業班や運動班において



平成二十七年度強度行動障害支援者養成研修を修了した職員による内部研修を行いました。

行動障害は、本人の障害特性の無理解と支援者を含めた

て活動内容の見直しを随時行い、より柔軟に対応すると共に個別対応にも力を入れていきます。

発達障がい者に対しての支援のノウハウと蓄積を進め今後増えていくであろう社会の要望に応えられるようになっていきます。

地域生活体験支援事業を継続し生活体験をすることで地域移行に繋がるようにしたいと思っています。

環境の不適合により起こり得るものです。

支援者として、利用者一人一人の障害特性を理解しようと努め続けること、個人プレーに走らずチームで一貫した対応をしていくことが求められています。

集団生活の中でも一人一人の生活を尊重し、充実した生活が出来るよう支援していければと思います。

## 保護者との

### 一泊研修

三月六日〜七日にかけ保護者との一泊研修会をいわき新舞子ハイツにて行いました。所長の挨拶の後、事業報告・医務報告・運動状況報告を行い休憩をはさんで支援状況報告・男女棟状況報告と続き、最後に今回のメイン企画であるグループ討議を四グループに分かれ行いました。普段時間を取って話をする機会が少なく、腹を割った話がしづらいのではないかとこの意見を踏まえての企画でした。「職員の顔と名前が覚えられない」とか「忙しそうにしているの声を掛けづらい」「入浴時の介助が必要な人が増えてきていますね」「おむつ使用の人が多くて驚いた」「家庭訪問を実施して欲しい」等、忌憚のない話が出来たと思います。懇親会では、さらに保護者の方々との会話が盛り上がり親睦を深めることが出来ました。

## 面会日

平成二十八年二月二十四日今年度最後の面会日があり十五名の保護者の方が参加されました。面会日の活動についての意見交換では、施設の行事に参加する保護者も高

## 退職者 異動者 送別会

二十八年三月三十一日自治会主催による退職者・異動者送別会が食堂で行われました。

今年度は退職者二名・異動者四名とお別れする職員が多く自治会会長から色紙、花束の贈呈の後はケーキを食べながら会食し利用者さんも涙を流しながら職員と今までの思い出話に花を咲かせました。



齢になりその後の後継者がいない状況を心配する声や、利用者の体力低下に伴いリハビリ等を行って欲しいとの話しがありました。そのような保護者の方の思いを大切に新たな一年を過ごしたいと思ひます。



# 一年を振り返って

## 医務

毎年この時期に、原稿依頼を受けると、また一年があっという間に過ぎてしまった事を痛感します。

今年度は三名の利用者さんが退所され、四月からは新たな利用者さんが一名、入所される予定です。

毎年退所される利用者さんを送り出す時、もっとできる事があった、関われる事があったのではと、その度に自問自答しています。

そんな思いが残らないよう、これからも、健康管理はもちろんの事、現場の職員との連携をさらに深め、利用者さんと共有する時間を大切にしていきたいと思います。

## 男子棟

平成27年度においては、各季節ごとの行事や週末のボランティアの方による外出支援、そしてグループ旅行など楽しみを持って生活を送る事ができました。

健康面では、猛暑の夏場を乗り切り、インフルエンザなどが心配された冬の時期も大きな流行はなく、一年間健康に留意して生活できています。また健康に過ごす為にリハビリ運動や歩行運動を一年を通し行ってきました。これからも健康を維持する為に、継続して運動に力を入れていきたいと思っています。

来年度も健康に留意し一人一人楽しみを持って生活できるよう支援していきます。

## 女子棟

平成27年度を振り返ると、花見、暑気払い、グループ旅行、クリスマス・忘年会など多くの行事を楽しみました。今年度から茶道が始まり、関心深く参加しているようです。ボランティアの方々の多大なるご協力の上に利用者様の楽しい生活があることに感謝しています。人と人のつながりがあるからこそ私たちの生活が楽しく、生き生きしているのだと実感しています。しかし、寂しい事もありました。二名の利用者様とお別れする事になりました。とてもつらい時を過ごし、健康の大切さを痛感しました。

今年は暖冬だったこともあり、インフルエンザや感染症が流行る事なく新年度を迎える事ができました。利用者様の笑顔が見られるように精一杯、力を合わせ、支援していきます。

## 厨房

厨房における今年度の一番の出来事と言えば、はまなす荘厨房で食事を作るスタイルに戻った事です。

昨年度末、食材の下処理をする「仕込み室」を新たに設置しました。これにより、はまなす荘独自の食事提供が出来るようになりました。

栄養マネジメントも少しずつ動き始め、利用者様の栄養面における課題も見えてきました。体重コントロールは、肥満の方にも痩せたの方にも必要な事なので、はまなす荘全体として取り組んでいく必要性を感じた所です。

今後も美味しい食の提供を目指していきたいと思っています。

### 節分



二月三日(水)、はまなす  
 荘食堂にて恒例の節分の豆ま  
 きが行われました。実習生四  
 名に節分にちなんだ紙芝居を  
 読んで頂き、それから豆まき  
 を行いました。今年の年男・  
 年女は男性一名・女性二名  
 で、「鬼は外!福は内!」と  
 豆に見立てたペットボトルの  
 キャップをぶつけて鬼を退治  
 し、一年間の健康を祈願しま  
 した。きっとたくさんの福を  
 呼び入れてくれたことでしょ  
 う。その後、甘酒と甘納豆を頂  
 き、今年の節分を終えました。



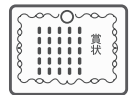
### ひな祭



三月三日(木)、はまなす  
 荘では、七段のひな人形を  
 飾った食堂にて、ひな祭りが  
 行われました。  
 今年のひな祭りは、昼食の  
 時間に行われ、BGMにうれ  
 しいひな祭りを流しながら、  
 ひな祭りの由来についてのお  
 話を聞きました。その後、ひ  
 な祭りにちなんだ豪華な食事  
 を楽しみました。ちらし寿司  
 に豚カツにケーキ、とっても  
 美味しかったですね。お雛様、  
 また来年もよろしく願いま  
 す。



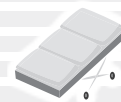
### 功労賞



三月二十九日(火)、平成  
 二十七年功労賞を実施しま  
 した。所長特別賞に篠原めぐ  
 みさん、男子棟・坂路城新さ  
 ん、女子棟・吉田和子さん  
 ひまわり班・田中文江さん  
 さくら班・伊藤光江さん、せ  
 んたく班・八巻隆さん、さき  
 おり班・青木清さん・あおぞ  
 ら班・相良美奈子さんが選ば  
 れました。所長より賞状を授  
 与する際には誰もが誇らしげ  
 に受け取っていました。  
 本当は全員を表彰したいほ  
 ど頑張った一年だと思いま  
 す。



## 福祉の町合同避難訓練



平成二十八年一月  
 二十六日(火)、福  
 祉の町の合同避難訓  
 練をはまなす荘にて  
 実施しました。  
 出火場所に厨房を  
 想定し、避難訓練は  
 放送と職員の指示の  
 もと落ち着いて避難  
 する事ができました。  
 避難訓練後は、二ノ  
 テックの職員の指導  
 のもとホワイトルー  
 ム前屋内消火栓を使  
 用して放水訓練を行  
 いました。実際に使  
 用してみると、使用  
 法やホースの長さ、  
 水の勢い等を知ること  
 ができ貴重な体験  
 となりました。  
 普段から消防設備  
 の使用法を把握して  
 いる事で、実際の災  
 害時には的確な行動  
 に繋がられるのだと  
 感じました。





# ボランティア活動懇談会

三月二十六日(土)に平成二十七年ボランティア活動懇談会を実施し、ボランティアの方々とは職員とで今年度の振り返りと次年度に向けての意見交換を行いました。

一年間の活動を数字で見ると、活動ボランティアの延べ

人数が約三六〇名でした。一日一名で計算すると、ほぼ毎日ボランティアの方が来所されている計算になります。

ボランティアの方々の力やその存在の大きさを改めて実感することが出来ました。ボランティア活動を継続していくことは本当に大変なことだと思いますが、はまなす荘にとってなくてはならない存在になっております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



## さき織り・展示即売会

平成二十七年二月さき織り・展示即売会を行いました。初めての試みだった為にどれだけのお客さんが見に来るのか不安でした。保護者の協力と利用者さんの頑張りがあったおかげで、たくさんのおさき織り作品を作り上げる事が出来

ました。展示会を二日間行った結果百二十名の見学者がはまなす荘を訪れ、さき織り作品を買って頂きました。また、さき織りに興味を持っていただけの見学者も数名おり、次回に繋げる事ができたと感じました。



## 自活訓練

平成二十七年度は、途中、メンバーを変更する事もありましたが、世話人さんを含めて話をしながら、自活訓練を実施する事ができました。

この一年間で、みんなそれぞれ成長



長したように感じ、利用者さんからも「楽しい」との話が聞かれました。

平成二十八年度は、男子が金成光則さん、紺野利男さんの二名、女子が小川コウ子さんと長谷川真弓さんの二名で

実施しています。利用者さんが「楽しい。続けたい」と思ってもらえるように取り組んでいきたいと思っておりますので、保護者の皆様のご協力・ご理解の程、よろしく申し上げます。

# トピックス

## 自治会による エコキャップ寄贈

「自分たちに来る事で人のため役立ちたい」と自治会活動として約一年かけて二〇一kg(ポリオワクチン十五・二人分に換算)換金額は「世界の子供にワクチンを 日本委員会」へ募金しました。沢山の方に協力頂きありがとうございました。今後利用者さん中心に続けていける様にご協力お願い致します。



**お悔やみ**  
昭和五十四年四月一日より入所されていた澤田昌史さんが平成二十八年三月九日永眠されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

## New Face Introduction

### 新入職員紹介

- ①名前 ②職種 ③趣味・特技 ④抱負



① 渡邊由紀 (わたなべゆき)  
② 支援員  
③ DVD鑑賞  
④ はまぎく荘から異動してきました。利用者さんが元気な笑顔で生活できるよう、少しの変化も見逃さない支援ができたらと思っています。よろしく願います。



① 大谷英之 (おおたにひでゆき)  
② 支援員  
③ DVD鑑賞  
④ 野の花ホームより移動してきました。今まで身体障がい利用者の方々と専門的にお仕事をしており知的障がいの方々の経験はピカピカの一年生です。当面の目標は早く仕事を覚え、利用者の方達と楽しく過ごしたいです。



① 松尾幸昌 (まつおゆきまさ)  
② 支援係長  
③ 釣り・サッカー鑑賞  
④ 初めました。新年度からはまなす荘に勤務させて頂く事になりました。始めて経験する事が多い中、自分自身に「何ができるのか」と自問自答しています。少しでも利用者の皆さんが素敵な時間を過ごせるようにお手伝いさせて頂ければと思います。



① 橋本弘明 (はしもとひろあき)  
② 支援課長  
③ 趣味・特技は怠惰な性格の為特に持ち合わせません。あえて言えば昼寝が好きです。  
④ 四月よりこれまでの地域生活支援事業所からはまなす荘へ異動となりました。新しい環境下で気持ちを新たに取組んで行きたいと思っていますので宜しくお願い致します。

## 編集後記

忙しい新年度の始まり、はまなす荘周辺の桜は優雅でとてもきれいに咲いています。利用者さんと同じ風に吹かれ野に咲く花の様に穏やかに過ごしたいと思っています。

## 入所者

平成二十八年四月一日付けで鈴木宏一さんがはまなす荘に入所となりました。楽しくはまなす荘での生活を送ってもらいたいと思います。

## 退所者

小林多美子さんが、三月一日付けで退所となり、野の花ホームへ移行となりました。これからも健康に気を付けて、新しい生活を楽しんで下さい。

## 異動・退職職員

猪狩まさ子支援課長、坂本葉月支援員が三月三十一日付けで退職されました。長い間ありがとうございました。  
佐藤伝副主任支援員がはまなすへ、青田真記支援員が療護園へ、加藤すみ子管理栄養士がひかりへ、吉田真由美支援員補助がひかりの家へ異動されました。  
新しい異動先でも頑張ってください。